

次期中期計画のうち第1(1)(2)改正案（中期計画・項目の変更状況）

改正案	現行
第1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	第1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
1 教育に関する目標を達成するための措置	1 教育に関する目標を達成するための措置
(1) 学部 の 教育の内容及び成果 に関する目標を達成するための措置	(1) 教育の内容 に関する目標を達成するための措置
ア 卒業の認定及び学位授与	ア 入学者受入方針・入学者選抜
(ア) 卒業認定及び学位授与	(ア) 学部
(イ) 成績評価	(イ) 大学院
イ 教育課程の編成及び実施	イ 教育課程
(ア) 教育課程の編成	(ア) 学部
(イ) 教育の実施	(イ) 大学院
ウ 入学者の受入れ	ウ 教育方法
(2) 大学院 の 教育の内容及び成果 に関する目標を達成するための措置	(ア) 学部
ア 修了認定及び学位授与	(イ) 大学院
(ア) 修了認定及び学位授与	エ 成績評価
(イ) 成績評価	(ア) 学部
イ 教育課程の編成及び実施	(イ) 大学院
(ア) 教育課程の編成	(2) 教育の成果 に関する目標を達成するための措置
(イ) 教育の実施	ア 学部
ウ 入学者の受入れ	イ 大学院

（注）項目の立て方を変更しているが、記載内容は一部を除き変更なし。改正前から改正後の記載内容の移行状況は学部については上記矢印のとおり。（大学院についても同様の移行になるため矢印は省略）

次期中期計画のうち第1(1)改正案(中期計画・学部の変更状況)

改正案	修正内容	現行
(1)学部の教育の内容に関する目標を達成するための措置		
ア 卒業の認定及び学位授与		
(ア) 卒業認定及び学位授与 「新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成する」という教育理念の下、「豊かな人間性と社会性を身につける教育」を行うにあたり、不断に大学及び各学部のディプロマ・ポリシーと学士課程全授業科目の到達目標との整合を図る。	転記による削除	(2) 教育の成果に関する目標を達成するための措置 「新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成する」という教育理念の下、 <u>文化的素養と国際感覚を身につけるための基盤的な教育を行う「全学教育」と、専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで段階的に履修する「専門教育」の連携によって</u> 、「豊かな人間性と社会性を身につける教育」を行うにあたり、不断に大学及び各学部のディプロマ・ポリシーと学士課程全授業科目の到達目標との整合を図る。
(イ)成績評価 大学及び各学部のディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)に則り、公平で透明性のある評価基準により、それぞれの学生の学修到達度を測定し、厳正な成績評価を行う。	修正なし	(1)エ 成績評価 大学及び各学部のディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)に則り、公平で透明性のある評価基準により、それぞれの学生の学修到達度を測定し、厳正な成績評価を行う。
【数値目標①】 学部卒業生の輩出 96人/毎年度	修正なし	【数値目標③】 学部卒業生の輩出 96人/毎年度
イ 教育課程の編成及び実施		
(ア) 教育課程の編成 <u>文化的素養と国際感覚を身につけるための基盤的な教育を行う「全学教育」と、専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで段階的に履修する「専門教育」の連携を図る。</u> 学士課程の専門教育においては、専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本として、全学教育とも連携し、各学部の教育方針の下、カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)に基づき教育課程を編成する。	転記による加筆	(1)イ 教育課程(前半) 学士課程の専門教育においては、専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本として、全学教育とも連携し、各学部の教育方針の下、カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)に基づき教育課程を編成する。
(イ) 教育の実施 全学教育においては、幅広い教養を身につけるとともに、専門分野の学修と将来の知的活動や職業生活、社会生活においても必要な語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力、論理的思考力等を獲得できるよう、教育内容の一層の充実を図る。 <u>また、芸術分野の学生が身に付けておくべき素養として、データサイエンス教育の導入を図る。</u>	加筆	(1)イ 教育課程(後半) 全学教育においては、幅広い教養を身につけるとともに、専門分野の学修と将来の知的活動や職業生活、社会生活においても必要な語学力、情報処理能力、コミュニケーション能力、論理的思考力等を獲得できるよう、教育内容の一層の充実を図る。
学士課程において、カリキュラム・ポリシーに沿って多様な実践的教育や少人数によるきめ細かな教育を着実に実施するとともに、学生の学修意欲や理解度の向上につながるよう、学修成果(※1)・教育効果の把握・可視化(※2)など、教育方法の改善を図る。	修正なし	(1)ウ 教育方法 学士課程において、カリキュラム・ポリシーに沿って多様な実践的教育や少人数によるきめ細かな教育を着実に実施するとともに、学生の学修意欲や理解度の向上につながるよう、学修成果(※1)・教育効果の把握・可視化(※2)など、教育方法の改善を図る。
ウ 入学者の受入れ		
大学及び学部の教育理念を踏まえたアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)に基づき、芸術活動への意欲が高く、学士課程の学修に必要な基礎的知識や表現技術と将来性のある豊かな芸術的感性を備えた人材を適切に選抜するため、入学者選抜方法の改善を図り、実施する。	修正なし	(1)ア 入学者受入方針・入学者選抜 大学及び学部の教育理念を踏まえたアドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)に基づき、芸術活動への意欲が高く、学士課程の学修に必要な基礎的知識や表現技術と将来性のある豊かな芸術的感性を備えた人材を適切に選抜するため、入学者選抜方法の改善を図り、実施する。
【数値目標②】 大学の志願倍率の維持向上 2.3倍/毎年度	修正なし	【数値目標①】 大学の志願倍率の維持向上 2.3倍/毎年度

次期中期計画のうち第1(2)改正案(中期計画・大学院の変更状況)

改正案	修正内容	現行
(2)大学院の教育の内容及び成果に関する目標を達成するための措置 ア 卒業の認定及び学位授与		
(ア) 修了認定及び学位授与 芸術文化に対する深い理解と感性を持ち、創造力豊かで社会において芸術分野の幅広い実践及び研究活動を行う作家、演奏家、研究者、芸術教育の専門的指導者など高度に専門的な職業を担い得る人材を育成する。その際、各専門分野の高度な教育としての研究指導及び授業並びに隣接領域を中心とした関連分野の授業について、各研究科のディプロマ・ポリシーとの整合を図る。	修正なし	(2) 教育の成果に関する目標を達成するための措置 芸術文化に対する深い理解と感性を持ち、創造力豊かで社会において芸術分野の幅広い実践及び研究活動を行う作家、演奏家、研究者、芸術教育の専門的指導者など高度に専門的な職業を担い得る人材を育成する。その際、各専門分野の高度な教育としての研究指導及び授業並びに隣接領域を中心とした関連分野の授業について、各研究科のディプロマ・ポリシーとの整合を図る。
(イ) 成績評価 各研究科のディプロマ・ポリシー(修了認定・学位授与の方針)に則り、公平で透明性のある評価基準による厳正な成績評価及び透明性・客観性のある学位論文等の審査を行う。	修正なし	(1)エ 成績評価 各研究科のディプロマ・ポリシー(修了認定・学位授与の方針)に則り、公平で透明性のある評価基準による厳正な成績評価及び透明性・客観性のある学位論文等の審査を行う。
【数値目標③】 大学院修了生の輩出 35人/毎年度	修正なし	【数値目標④】 大学院修了生の輩出 35人/毎年度
イ 教育課程の編成及び実施		
(ア) 教育課程の編成 修士課程においては、学士課程における教育を基礎として、各専門分野において高度な実践能力及び研究能力を養成するために、各研究科の教育理念の下、カリキュラム・ポリシーに基づき教育課程を編成する。また、国内外の芸術系大学との単位互換を含む交流授業の充実を図る。 後期博士課程においては、本学の特長を生かし実技と理論との結びつきを重視する教育課程の一層の充実を図る。	重複削除	(1)イ 教育課程 修士課程においては、学士課程における教育を基礎として、各専門分野において高度な実践能力及び研究能力を養成し、作家や演奏家、研究者、芸術教育の専門的指導者となり得る人材を育成するために、各研究科の教育理念の下、カリキュラム・ポリシーに基づき教育課程を編成する。また、国内外の芸術系大学との単位互換を含む交流授業の充実を図る。 後期博士課程においては、本学の特長を生かし実技と理論との結びつきを重視する教育課程の一層の充実を図る。
(イ) 教育の実施 各研究科においては、学生個々の研究内容に応じて柔軟に研究指導体制を組織し、カリキュラム・ポリシーに沿って、学生の個性を尊重した教育を推進する。 後期博士課程においては、芸術文化についての幅広い見識を持ち、自立した研究活動を行うために必要なより高度な能力を獲得できるよう、関連領域の複数教員による研究指導体制により学位論文の完成を目指して徹底した研究指導を行う。	修正なし	(1)ウ 教育方法 各研究科においては、学生個々の研究内容に応じて柔軟に研究指導体制を組織し、カリキュラム・ポリシーに沿って、学生の個性を尊重した教育を推進する。 後期博士課程においては、芸術文化についての幅広い見識を持ち、自立した研究活動を行うために必要なより高度な能力を獲得できるよう、関連領域の複数教員による研究指導体制により学位論文の完成を目指して徹底した研究指導を行う。
ウ 入学者の受入れ		
修士課程においては、各研究科の教育理念を踏まえたアドミッション・ポリシーに基づき、幅広い教養と専門分野の基礎的な知識及び能力を備えているとともに、研究に対する強い目的意識と意欲のある学部卒業生や社会人など多様な人材の受入れを推進する。 後期博士課程においては、研究科の教育理念を踏まえたアドミッション・ポリシーに基づき、芸術に関する高度な知識を備え、自立した研究者となるための意欲と能力と展望を備えている人材の受入れを推進する。 <u>また、より多くの人材を育成するため、定員の増の検討を進める。</u>	加筆	(1)ア 入学者受入方針・入学者選抜 修士課程においては、各研究科の教育理念を踏まえたアドミッション・ポリシーに基づき、幅広い教養と専門分野の基礎的な知識及び能力を備えているとともに、研究に対する強い目的意識と意欲のある学部卒業生や社会人など多様な人材の受入れを推進する。 後期博士課程においては、研究科の教育理念を踏まえたアドミッション・ポリシーに基づき、芸術に関する高度な知識を備え、自立した研究者となるための意欲と能力と展望を備えている人材の受入れを推進する。
【数値目標④】 大学院の志願倍率の維持向上 1.5倍/毎年度	修正なし	【数値目標②】 大学院の志願倍率の維持向上 1.5倍/毎年度